

令和4年度公益財団法人高知県文化財団事業報告及び収支決算

1 令和4年度事業報告

高知県から、美術館、歴史民俗資料館、坂本龍馬記念館、文学館、埋蔵文化財センターの管理運営に関する指定管理者制度に基づく指定を受け、県民サービスの向上と経営の効率化の視点に立った運営に努めた。また、芸術文化活動の振興に資する様々な事業や埋蔵文化財の発掘調査事業などを実施した。

(1) 総務部

ア 文化振興事業

(ア) アーツカウンシルを核とした地域での芸術文化事業の創出等

県民の文化芸術活動を支援し、「文化芸術の力で心豊かに暮らせる高知県」の実現に向け、文化芸術振興組織（アーツカウンシル）の機能を充実し、文化振興事業を行った。

a 人材育成事業

開催日	内容	講師等	参加者数
R4. 6. 26 (日)	Vol.1 「生きた伝統をつくる」	照屋林賢氏（ミュージシャン、株式会社アジマア代表）	33人
R4. 7. 30 (土)	Vol.2 「伝統の保存・継承 ② 室戸の踊り手たち」	遠枝澄人氏（室戸市地域プロジェクトマネージャー）	20人
R4. 8. 27 (土)	Vol.3 「地方からの文化発信」	内田樹氏（思想家・評論家、凱風館館長）	37人
R5. 1. 7 (土)	Vol.4 「歴史的建造物を守り活かす ①」	溝渕博彦氏（株式会社AREA代表）	26人
R5. 1. 8 (日)	Vol.5 「歴史的建造物を守り活かす ②」	山本恭弘氏・山本直子氏（聖建築研究所） 北山めぐみ氏・楠瀬朋葉氏（NPO法人すてきなまち・赤岡プロジェクト）	31人
R4. 10. 8 (土)	Vol.6 「カンカンミンガク（館・官・民・学）ー域学共生活動の取り組みー」	橋尾直和氏（高知県立大学教授）	20人
R4. 10. 30 (日)	Vol.7 「城による地域振興」	松田直則氏（高知県立埋蔵文化財センター） 澤原清之氏（高知県観光政策課）	41人
R5. 3. 4 (土)	Vol.8 「高知で全国的な芸術活動をするということ」	デハラユキノリ氏 （フィギュアイラストレーター）	19人
R4. 12. 3 (土)	Vol.9 「ふるさと奈良で表現活動をする意義 -そこにある宝物を探して-」	河瀬直美氏（映画作家）	22人
R5. 2. 3 (金)	Vol.10 「討論会 高知の文化状況について」	岡本明才氏（写真家）、 川鍋達氏（すさきまちかどギャラリー館長） 松本志帆子氏（薫工ミュージアム学芸スタッフ） 山下裕矢氏（ミュージシャン） 吉田剛治氏（舞台製作者）	53人
R5. 2. 18 (土)	番外編 「アーティストのための税金相談」	橋本誠氏（税理士）	14人

R5. 3. 24 (金) ～3. 26 (日)	実践編「高知県文化財団の映画の日 ～空族作品上映会～」(会場：高知県 立美術館ホール、カフェEquivalent、 香南市赤岡弁天横町集会所)	富田克也氏 (映画監督) 相澤虎之助氏 (映画監督)	52人
計			368人

※1 開催方法：Zoomオンライン ※2 第1・3・6・8・9回及び番外編は後日アーカイブ配信 (視聴者総数99名)

b 発表の場の拡充

多くの人が集まる場での文化芸術団体、個人に文化芸術活動の成果を発表する場の機会を提供した。

開催日	内容/場所	講師等	参加者数
R4. 8. 13 (土)	虫のコンサート (四万十町四万十会館)	コンサート/藤原すずか、山地高、 神尾真紀、工藤千子、北添紫光 ちぎり絵教室/前田幸来	56人
R4. 8. 21 (日)	夏をえがこう うちわ絵付け (四万十町四万十会館)	中村達志	18人
R4. 10. 10 (祝・月)	森のバイオリン (四万十町緑林公園)	目代美和、工藤千子、切詰稚奈、切 詰哲嗣	82人
R4. 11. 13 (日)	サ・ヨ・ナ・ラ徳屋玩具店 (土佐市高岡商店街・高岡蚤の市)	たいがー・りー、Tokyo Tomo	37人
R4. 12. 17 (土)	桜座ロビーコンサート (佐川町桜座)	junss(p)、narumi+ataru	52人
R5. 3. 4 (土) ～ 3. 31 (金)	「エキンスタイル」展 (土佐市もりたうつつわ製作所)	Ebi、上村菜々子、小松大輔、島村悠、 竹山美紀、鶴見さくら、デハラユキ ノリ、中広真美、西内新一、深浦亜 希、MARCHY、前田幸来、横山千春	—
計			245人

c 情報発信事業

アーツカウンシル高知ホームページにある高知の表現者の情報をデータベース化した「芸事
図鑑」に25件(団体・個人)を登録

d 文化芸術事業に関する相談事業

文化芸術に関する相談を、電話やメール・面談により14件行った。

(イ) 情報誌の発行、広報活動

a 「(公財)高知県文化財団ミュージアム・イベントガイド」の発行・配布

高知県文化財団が指定管理者として管理運営を委託されている5施設及び文化財団総務部
が行うイベントをまとめたリーフレットを作成、配布した。

b 「高知県文化財団ミュージアムスタンプラリー」の発行・配布

高知県文化財団が指定管理者として管理運営を委託されている県立美術館をはじめとする
5つの施設が、夏休みに行うプログラムを子供向けにまとめた印刷物を作成し、県内全小学校
の児童等に配布した。施設のスタンプラリーも実施し、集めたスタンプ数に対して、年間ミュ
ージアムパスポートや各施設のオリジナルグッズ等を進呈した。

(ウ) 子どもを対象としたアウトリーチ事業

幼少時から芸術文化に親しむ機会を提供することと、各施設の広報宣伝を目的に、イオンモール高知を会場にしたワークショップ（「Bunkazaidan子どもクラブ」）を開催した。

開催日	内容	講師等	参加者数 (延べ)
R4. 6. 4 (土)	KYASウクレレ子どもLIVE	KYAS	—
R4. 7. 23 (土)	フェイクスイーツをデコっちゃお!	畠中 由理	50人
R4. 8. 23 (火)	自由に点描画を描いてみよう	グラント 愛	29人
R4. 10. 15 (土)	ピカピカ光るパーティ帽子を作ろう	なかひら じゅんこ	50人
R4. 12. 18 (日)	聴いて、作って、演奏しよう!クリスマスコンサート&ワークショップ	ママ・レヴィユ・トリオ 三本 桂子	23人
R5. 3. 18 (土)	まいぶん出前考古学教室	高知県立埋蔵文化財センター	32人
計			184人

※KYASウクレレ子どもLIVEはコンサート形式のため集計していない。

イ 高知県芸術祭開催事業

県民の文化芸術に接する機会を増やし、県民自ら参加する文化芸術活動の促進に努め、文化の息づく郷土づくりを進めるため第72回高知県芸術祭を開催した。プレイベントとして「土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス」を、オープニングイベントとして「The Rev Saxophone Quartet (ザ・レヴ・サクソフォン・クワルテット)」、メインイベント「第30回中四国文化の集い『郷土芸能の集い i n 高知』」や「図工と音楽会 i n むろと廃校水族館」を実施した。

その他、《地域×アート》をコンセプトに高知県内で開催される文化芸術活動を助成する「KOCHI ART PROJECTS (KAP)」、「第51回高知県芸術祭文芸賞」等の事業を実施した。

芸術祭開催期間：R4. 9. 17(土)～12. 18 (日)

(ア) 芸術祭参加事業数 [() 内は前年度数]

行事区分	事業数
助成事業 (KAP)	14 (12)
主催事業	5 (3)
共催行事	21 (24)
協賛行事	44 (38)
計	84 (77)

(イ) 参加者数 [() 内は前年度数]

行事区分	参加者数
助成事業 (KAP)	7,404人 (1,948人)
主催事業	1,685人 (1,064人)
共催行事	83,346人 (71,410人)
協賛行事	47,481人 (43,389人)
計	139,916人 (117,811人)

(ウ) KOCHI ART PROJECTS (KAP) 助成事業

団体名	事業名	実施期日	助成額 (千円)
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭 実行委員会	高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2022	中止	200
Kochi art warming	Kochi art warming 第2回公演『真夏の夜の夢』	R4. 9. 25 (日)	300
高知市魚の棚商店街協同 組合	高知市魚の棚商店街アートマルシェ	R4. 10. 1 (土) ～10. 31 (月)	300
松村紫乃&グループ琴	①邦楽器による【しばてん物語】と音楽 ②琴と三味線のお話と音楽～金林寺～	①R4. 10. 8 (土) ②R4. 12. 13 (火)	300
劇団 the・創	牧野富太郎伝 ①草木の人 ②草を褥に	①R4. 10. 23 (日) ②R4. 12. 3 (土)	300
土佐山田・あーとリンク 実行委員会	土佐山田・あーとリンク vol. 2	R4. 10. 29 (土) ～ 11. 6 (日)	300
下田応援隊	しまんと景観デザイン研究所～むこうはど こだ。～	R4. 10. 31 (月) ～ 11. 6 (日)	300
室戸世界ジオパークセン ター	ファインダー越しに見る室戸ユネスコ世界 ジオパーク～地域の自然と人の暮らし～	R4. 11. 1 (火) ～ 12. 10 (土)	210
いしはらの里協議会	いしはら音楽祭～紅葉彩る三宝山地福寺コ ンサート～	R4. 11. 5 (土)	300
松葉川青年団	第三回いっとひょう沈下橋アートプロジェ クト	R4. 11. 19 (土)	300
芸術ハカセは見た・Art nest YOMO	過去から未来へ「南海トラフで芸術(アート) は死にますか？」(東日本大震災からの声) 芸術の四国遍路展・高知編	R4. 11. 23 (水・祝) ～ 12. 4 (日)	300
W a s h i +	PaperAA! ～赤れんが商家を使ったインスタ レーションと映像ワークショップ～	R4. 11. 26 (土) ～ 12. 4 (日)	300
高知版画協会	第33回高知版画協会展・徳島版画交流展	R4. 11. 30 (水) ～ 12. 11 (日)	240
宿毛寄席実行委員会	第2回「宿毛寄席」i n 林邸	R4. 12. 3 (土)	300
劇団 c o y o t e	晴れる夜に誰かの寝息が聞こえる One of the bear shooters in the world	R4. 12. 10 (土)	230
計		15件	4, 180

※中止となった「高知街ラ・ラ・ラ音楽祭2022」には、準備等に要した費用を助成

(エ) 主催事業

- a プレイイベント「土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス」
R4. 8. 28(日) 会場：高知市帯屋町商店街1丁目 入場者：158人
- b オープニングイベント「The Rev Saxophone Quartet (ザ・レヴ・サクソフォン・クワルテ
ット)」
R4. 9. 27(火) 会場：高知県立美術館ホール 入場者：358人
- c メインイベント「第30回中四国文化の集い『郷土芸能の集い i n 高知』」
R4. 10. 10(月・祝) 会場：高知県立県民文化ホール・グリーンホール 入場者：377人
- d 「図工と音楽会 i n むろと廃校水族館」
R4. 11. 13(日) 会場：椎名集落活動センター・多目的ホール 入場者：100人

(オ) 文芸賞 [() 内は前年度数]

	応募総数	応募人数	文芸賞	奨励賞	佳作
短編小説	28 (38)	28 (38)	1	2	1
詩	46 (50)	46 (50)	1	5	5
短歌	354 (467)	169 (274)	1	5	6
俳句	833 (687)	321 (193)	1	5	10
川柳	563 (601)	128 (161)	1	4	10
計	1,824 (1,843)	692 (716)	5	21	32

ウ 文化事業に対する助成事業

(ア) 高知県文化財団文化事業助成金の交付

文化関係団体等の行う文化事業に対して助成金を交付し、県内文化の振興発展に努めた。

団体名	事業名	実施期日等	助成額 (千円)
土佐絵金歌舞伎伝承会	土佐絵金歌舞伎伝承会30周年、弁天座開館15周年記念事業 土佐絵金歌舞伎定期公演及び土佐絵金歌舞伎特別公演	R4. 7.16(土) ～ 7.18(月・祝)	300
「集まりや! やっぱり俳句は楽しいき」実行委員会	集まりや! やっぱり俳句は楽しいき -HAIKU TIME-	R4. 7.26(火)	300
奥田川親水公園の会	音楽劇「おらんくのかみさま」	R4. 11.18(金) ～ 11.23(水・祝)	300
宿毛まちのえき林邸	HAYASHITEI ART 2023 芸術が起こる/つながる、林邸	R5. 1.14(土)～ 1.29(日)	126
高知葉風会	高知葉風会 追悼演奏会 ～窪田和葉先生を偲んで～	R5. 1.29(日)	300
NPO法人すてきなまち・赤岡プロジェクト	土佐の伝統建築文化の体験と継承 ～vol.2～	全9回 (延べ16日間)	300
南口 恵里	あそびアート教室	全20回 (月2回)	217
	計	7件	1,843

(イ) 県内の文化団体が実施する事業の共催・後援による支援

県内で実施される芸術文化事業への名義後援を行った。

令和4年度後援事業:「第30回右城暮石頭彰吉野川全国俳句大会」他、8事業

(2) 美術館

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、展覧会の開催や美術館ホールでの自主事業等の実施に努めた。

企画展では、印象派風の技法を独習して「日本のモネ」と称され、高知を拠点として活動した山脇信徳の作品を紹介する「没後70年 山脇信徳」展、世界各地の“奇妙なもの”を対象に、博物学的・美学的視点から撮影・執筆するアーティスト 佐藤健寿の作品を紹介する「佐藤健寿展 奇界/世界」、高知市に生まれ、耽美で退廃的な絵画で一世を風靡した画家・合田佐和子の芸術を多面的に紹介する「合田佐和子展 帰る途もつもりもない」、明治末期、浮世絵の分業制作体制を応用して独自の視覚を獲得した「新版画」、その表現の礎を成した渡邊庄三郎と版元・渡邊版画を中心に、新版画の展開を紹介する「THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦」展を開催した。

関連企画として、「山脇信徳 人と作品」をテーマに鍵岡正謹氏（当館初代館長）による記念講演会をはじめ、展覧会出品作家や企画者、有識者による講演会等を開催した。

常設展（コレクション展）では、当館の二大コレクションであるシャガール、石元泰博の作品について、日頃の調査研究を基に魅力的なテーマを複数設定し、展示替えしながら紹介した。また、その他の収蔵品の中から「現代版画の愉しみ（前・後期）」や新たに収蔵した作品を紹介する「新収蔵品を中心に」、郷土関係の現代作家に焦点を当てるシリーズ「アーティスト・フォーカス #03 角田和夫」を開催した。

美術館ホールの自主事業としては、国内外を問わず、創造的で質の高い舞台芸術の招聘に取り組むとともに、日本芸能実演家団体協議会が受託した「文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業」に参画し、7月から1月にかけて、美術館のみならず県内各地で多彩な文化芸術活動を展開した。

教育普及活動としては、美術と美術館に親しみ、楽しんでもらうために、企画展等に関連したワークショップや講演会等のほか、特に、幼少期より芸術文化に親しむ機会を提供するため、子どもを対象とした教育普及活動を積極的に進めるとともに、地域や学校と積極的に連携する美術館として、館外において県民に親しまれる活動を充実して行った。

さらに、県内の美術愛好団体や個人、教育関係者など、県民の皆様が創作活動の成果を発表する場として利用されている県民ギャラリー等では、絵画をはじめ書道、工芸、写真などの多彩な展覧会が実施された。

ア 美術館利用状況

(ア) 展覧会等

展 覧 会		入館者	利用料金	備 考
主 催	常設展（コレクション展）	4,967人	1,656千円	(主催展の入館者内訳) 一 般 : 16,408人 大 学 生 : 880人 小中高生等 : 3,503人 減免・招待者等 : 10,595人 (ホール等の入場者内訳) 一 般 : 2,146人 小中高大生 : 76人 減免・招待者等 : 1,077人
	企画展	26,419人	15,525千円	
	美術館ホール等	3,299人	5,687千円	
	計	34,685人	22,868千円	
貸 館	オールドパワー文化展	1,845人	—	
	スピリットアート展	2,371人	—	
	県展	14,721人	—	
	こども県展	5,648人	—	
	計	24,585人	—	
美術館ホール		32,099人	13,169千円	
県民ギャラリー・企画展示室		30,869人	11,455千円	利用日数 : 311日
会議室・講義室・創作室		—	166千円	件 数 : 12件
写真撮影等		—	59千円	件 数 : 34件
合 計		122,238人	47,717千円	

(イ) その他の事業

	事 業 名	利用者数
館内	展覧会関連企画（サタデーレクチャー、講演会、映画上映会等）	2,023人
	高知サマープロジェクト	6,383人
	学校団体鑑賞受け入れ（ミュージアムバスツアー）	834人
	教員向け鑑賞講座（ティーチャーズ・ウィーク）	25人
館外	出前びじゅつ講座	431人
	出前クラシック教室	386人

	出前演劇教室	72人
	共催事業・舞台公演関連企画等	3,934人
計		14,088人

(ア)+(イ) 利用者数総計 136,326人

イ 外部資金（助成金、補助金、賞金）

交付団体	交付先事業	金額
公益社団法人 日本芸能実演家団体協議 会文化庁「統括団体による アートキャラバン事業」 （コロナ禍からの文化芸 術活動の再興支援事業）	地域の文化芸術関係団体との連携によるアートキャラバ ン事業（地域連携型） 高知あだんフィルムフェスティバル クワチュール・ベー 結成 15 周年記念コンサート ダンスの系譜学 公演 いのアートミーティング アンサンブル・パレット 出前クラシック教室 蛸蔵ラボ vol.9 無声映画×ライブ演奏&秋の定期上映会 「合田佐和子が描いた銀幕の女神たち」 絵金 公演（中止） アンサンブル・パレット カラフルコンサート 四万十川国際音楽祭 2022 「藤原真理と仲間たち クラリネット三重奏の世界」 コンサート	24,402千円
文化庁「文化芸術振興費補 助金(コロナ禍からの文化 芸術活動の再興支援事 業)」	企画展 「佐藤健寿展 奇界/世界」展	6,000千円
独立行政法人日本芸術文 化振興会「芸術文化振興基 金助成金」(地域文化施設 公演・展示活動)	企画展 「合田佐和子展」	3,000千円
独立行政法人日本芸術文 化振興会「芸術文化振興基 金助成金」(国内映画祭等 の活動)	冬の定期上映会 「濱口竜介監督 特集」	600千円
一般財団法人地域創造「地 域の文化・芸術活動助成事 業」	ピーピング・トム「マザー」公演	5,000千円
公益財団法人 花王芸術・科学財団	企画展 「合田佐和子展」	500千円
公益財団法人 朝日新聞文化財団	高知県立美術館アーティスト・フォーカス #03 「角田和夫」	100千円
文化庁「文化芸術振興費補 助金(文化施設の活動継 続・発展等支援事業)」	美術館内の感染症対策	55千円
合 計		39,657千円

ウ 展覧会開催事業

(ア) 常設展 (コレクション展)

a シャガール・コレクション展(第1展示室)

展覧会名	会期	日数	観覧者
第1回シャガール・コレクション展 「我が生涯」	R4. 4. 5(火)～6. 12(日)	69日	2,448人
第2回シャガール・コレクション展 「死せる魂①」	R4. 6. 18(土)～8. 7(日)	51日	4,409人
第3回シャガール・コレクション展 「死せる魂②」	R4. 8. 9(火)～10. 26(水)	79日	5,418人
第4回シャガール・コレクション展 「死せる魂③」	R4. 11. 3(木・祝)～12. 11(日)	39日	2,048人
第5回シャガール・コレクション展 「もの言わずして語る人」	R4. 12. 13(火)～R5. 2. 19(日)	63日	2,442人
第6回シャガール・コレクション展 「悪童たち」	R5. 2. 21(火)～4. 4(火)	39日	1,691人
合計		340日	18,456人

※ 観覧者数は企画展も含む

b 石元泰博コレクション展(石元泰博展示室)

展覧会名	会期	日数	観覧者
第1回石元泰博コレクション展 「街 1期 東京造型散歩」	R4. 3. 30(水)～5. 15(日)	45日	1,816人
第1回石元泰博コレクション展 「街 2期 東京の顔」	R4. 5. 19(木)～7. 18(月・祝)	61日	2,379人
第1回石元泰博コレクション展 「街 3期 シカゴの路上」	R4. 7. 20(水)～9. 11(日)	54日	4,266人
第2回石元泰博コレクション展 「水と人のながれ」前期	R4. 9. 22(木)～11. 27(日)	67日	2,007人
第2回石元泰博コレクション展 「水と人のながれ」後期	R4. 11. 29(火)～R5. 2. 5(日)	63日	2,146人
第3回石元泰博コレクション展 「日本の近代建築」	R5. 2. 7(火)～4. 4(火)	53日	1,769人
合計		343日	14,383人

※ 観覧者数は企画展も含む

c コレクション・テーマ展(第4展示室)

展覧会名	会期	日数	観覧者
現代版画の愉しみ(前期)	R4. 3. 26(土)～5. 18(水)	48日	2,088人
現代版画の愉しみ(後期)	R4. 5. 20(金)～7. 18(月・祝)	60日	2,539人
高知県立美術館アーティスト・フォーカス#03 「角田和夫」	R4. 10. 29(土)～R5. 1. 9(月・祝)	67日	3,292人
新収蔵品を中心に	R5. 1. 12(木)～2. 23(木・祝)	43日	1,557人
合計		218日	9,476人

※ 観覧者数は企画展も含む

(イ) 企画展

展覧会名	会期	日数	観覧者
没後70年 山脇信徳展	R4. 3. 30(水)～5. 15(日)	45日	2,527人
佐藤健寿展 奇界／世界	R4. 6. 18(土)～9. 11(日)	86日	15,268人
合田佐和子展 帰る途もつもりもない	R4. 11. 3(木・祝)～R5. 1. 15(日)	68日	5,004人
THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦	R5. 1. 28(土)～3. 19(日)	51日	3,620人
合 計		250日	26,419人

エ 教育普及事業

(ア) 展覧会開催関連企画

a サタデーレクチャー

展覧会名	実施日等	参加者
没後70年 山脇信徳展	R4. 4. 16 (土) 14:00～	15人
合田佐和子展 帰る途もつもりもない	R4. 11. 26 (土) 14:00～	22人
THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦	R5. 3. 4 (土) 14:00～	14人
参加者合計		51人

b 講演会等

展覧会名	実施日・内容等	参加者
没後70年 山脇信徳展	R4. 4. 23 (土) 14:00～15:30	30人
参加者合計		30人

c 展覧会関連イベント、ワークショップ

展覧会名	実施日・内容等	参加者
佐藤健寿展 奇界／世界	佐藤健寿トーク「奇界／世界を語る」 R4. 7. 16 (土) 14:00～ 285人 ほか	501人
合田佐和子展 帰る途もつもりもない	クロストーク「合田佐和子展が実現するまで」 R4. 11. 3 (木・祝) 13:00～ 61人 映画「合田佐和子が描いた銀幕の女神たち」 R4. 11. 17 (木) ～20 (日) 419名 ほか	700人
THE 新版画 版元・渡邊庄三郎の挑戦	開幕記念スペシャルギャラリートーク R5. 1. 28 (土) 13:30～ 40人ほか	86人
アーティスト・フォーカス#03 角田和夫 土佐深夜日記ーうつせみ	ゲストトーク (角田和夫×飯沢耕太郎) R4. 12. 10 (土) 14:00～ 102人 ほか	222人
参加者合計		1,509人

(イ) 高知サマープロジェクト等

イベント名	実施日・内容等	入場者
サマープロジェクト2022 しりあがり寿さんが高知県美にやってくる!	R4. 7. 26 (火) ～8. 21 (日)	6,383人
絵金の年中風俗絵巻 アニメ化大作戦	R4. 6. 25 (土)	28人
参加者合計		6,411人

(ウ) 開館記念日イベント、お正月イベント

イベント名	実施日・内容等	入場者
お正月イベント	R5. 1. 3(火)「幡多神楽を舞う」	520人

(エ) 大学等からの博物館実習生等の受け入れ

コロナの影響により実績なし

(オ) スクール・プログラム

a 出前びじゅつ講座、出前クラシック教室、出前演劇教室

受け入れ件数	実施日	参加者
出前びじゅつ講座 大方高校2年生ほか 全10件	R4. 5. 25(水)ほか 全10日	431人
出前クラシック教室 小鹿園分校全生徒ほか 全6件	R4. 9. 22(木)ほか 全6日	386人
出前演劇教室 田野小学校3～4年生ほか 全2件	R5. 1. 24(火)ほか 全2日	72人
参加者合計		889人

b 学校団体鑑賞等受け入れ

受け入れ件数	実施日	参加者
白木谷小学校ほか 全23件	R4. 5. 2(月)ほか 全23日	834人

c 教員向け鑑賞講座(ティーチャーズ・ウィーク)

対象 展覧会	実施日	参加者
没後70年 山脇信徳 展 全4件	R4. 4. 1(金)～4. 7(木)ほか全4日	25人

オ 石元泰博フォトセンター事業

(ア)「深める」活動(保存管理、調査研究、収集)

館内ではプリント・フィルム等の内容確認及び整理作業を優先的にを行い、その一方で公開用データベース構築のための作業も進めた。

館外では作品・文献調査等を行った。

(イ)「広める」活動(展示公開、著作権管理)

石元泰博展示室を拠点にコレクションを年6回の展示替で常設公開した。著作権の適切な管理などを進め、コレクション情報の部分的なウェブ公開にも努めた。

(ウ)「つなぐ」活動(教育普及)

土佐市スクール・プログラム事業として土佐市教育委員会と協同し、高岡第二小学校、土佐南中学校、戸波小学校の3校の小学校、中学校の受け入れを行った。

カ 美術館ホール事業

(ア) 舞台公演等

公 演 名	開 催 日	入場者等
高知ライブエール・プロジェクト 高知あだたんフィルムフェスティバル	R4. 7月～9月 全13日間	401人
スペシャル出前クラシック	R4. 8. 26(金)	39人
高知ライブエール・プロジェクト クワチュール・ペー結成15周年記念コンサート	R4. 8. 27(土)～28(日)	273人
高知ライブエール・プロジェクト 「ダンスの系譜学」公演	R4. 9. 8(木)	291人
高知ライブエール・プロジェクト 「いのアートミーティング」	R4. 9. 3(土)～11日(日)	277人
高知ライブエール・プロジェクト (再掲) アンサンブル・パレット 出前クラシック教室	R4. 9月～11月 全6回	386人
高知ライブエール・プロジェクト 「蛸蔵ラボvol. 9」	R4. 10. 15(土) 16日(日)	151人 WS 9人
高知ライブエール・プロジェクト 無声映画×ライブ演奏&秋の定期上映会 「合田佐和子が描いた銀幕の女神たち」	R4. 11. 17(木)～20日(日)	419人
高知ライブエール・プロジェクト 「絵金」公演	R4. 12. 4(日)	中止
高知ライブエール・プロジェクト アンサンブル・パレット カラフルコンサート	R4. 12月～R5. 1月 全3回	296人
出前演劇教室(田野小・上分小) (再掲)	R5. 1. 24(火)～25(水)	72人
幡多神楽を舞う (再掲)	R5. 1. 3(火)	520人
高知ライブエール・プロジェクト 四万十川国際音楽祭 2022	R5. 1. 28(土)	279人
ピーピング・トム「マザー」公演	R5. 2. 18(土)	399人
入場者合計		3,812人

(イ) 定期上映会

事 業 名	開 催 日	入場者
春の定期上映会 「過激な巨匠 ルイス・ブニュエル監督特集」	R4. 5. 21(土)、22(日)	395人
夏の定期上映会 「奇界な映画」	R4. 8. 20(土)、21(日)	302人
秋の定期上映会 (再掲) 「合田佐和子が描いた銀幕の女神たち」	R4. 11. 17(木)～20(日)	419人
冬の定期上映会 「濱口竜介監督特集」	R5. 1. 18(水)～22(日)	679人
入場者合計		1,795人

(ウ) 共催事業

事業名	開催日	入場者
演劇祭KOCHI 2022 (高知市ミニシアター蛸蔵)	R4. 4. 22 (金) ~ 7. 24 (日)	1,565人
四万十川国際音楽祭 2022		
①ジュニア弦楽アンサンブル講座 (小3~中3)	①R4. 6月~R5. 3月 (月2回)	12人
②中村交響楽団第88回定期演奏会	②R4. 7. 10 (日)	500人
③中村交響楽団演奏会in西土佐	③R4. 9. 25 (日)	62人
④ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト	④R4. 10. 6 (木)	238人
⑤ジュニア弦楽アンサンブル講座おさらい発表会 (於: 四万十市立文化センター 他)	⑤R5. 3. 12 (日)	35人
シネマの食堂2022	R4. 9. 16 (金)	75人
入場者合計		2,487人

(エ) 舞台公演関連企画

事業名	開催日	参加者
高知ライブエール・プロジェクト 「ダンスの系譜学」公演 関連企画オンラインレクチャー	R4. 8. 13 (土)	60人
ピーピング・トム「マザー」関連企画		
①ドキュメンタリー映画&過去作品の紹介	①R5. 2. 5 (日) 6日 (月)	187人
②シニア向け入門ワークショップ	②R5. 2. 15 (水)	18人
③ダンス中級ワークショップ	③R5. 2. 19 (日)	20人
④声と演技ワークショップ	④R5. 2. 19 (日)	20人
入場者合計		305人

キ 文化芸術の海外拠点形成事業

当館は、長年にわたり国内外の優れた作品を紹介してきたことで日本の芸術発信拠点の一つとして認知されつつあることから、新たな文化創造と国際的な発信の拠点となる取り組みとして、国内外のアーティストを招聘し、長期滞在型創造プログラムを実施しているが、コロナの影響もあり休止している。

(3) 歴史民俗資料館

令和4年度は、特別展1回と企画展3回を開催した。春は、3階総合展示室を会場とした特別展「驚異と怪異—世界の幻獣と霊獣たち—」を開催した。本展は、令和元年、国立民族学博物館で開催し好評を博した「驚異と怪異—想像界の生きものたち—」の展示資料の一部を巡回し、国立民族学博物館所蔵資料を中心としながら当館独自に県内外から借用した資料をあわせて、人魚、龍など世界と日本のさまざまな想像上の生き物を通して、人間の想像力について考えるこれまでにない展示とした。夏は、企画展「絵馬ってなあに？」を開催し、当館所蔵の絵馬をはじめ、馬の郷土玩具や絵馬提灯の民俗資料を展示することで、絵馬の起りから広がりまでを紹介した。秋は、写真家・武吉孝夫氏が写真仲間の小林氏と平成の高知県の山村へ通い、撮り続けた写真を紹介する企画展「武吉孝夫写真展—高知県の山村を歩く—」を開催した。写真には、「写紙」(武吉氏の造語。写真に取材時の聞き書きなどを添えた葉書)を再構成した文章を添え、何気ない日常の一コマや失われつつある民俗行事などの風景を紹介した。冬は、約18万点の収蔵品を大きさや長さ、めでたい! やキラキラなど様々な切り口でランキング化して紹介する企画展「れきみんコレクション! なんでもランキング」を開催した。資料の歴史的背景を知らずとも楽しめるような解説を付すなど、来館のきっかけとなる工夫をした。

また、当館は「公開承認施設」(国宝・重要文化財の公開にふさわしい施設と文化庁長官が認定

する制度)として令和7年8月17日まで承認されているが、日々の環境調査を継続し、空気環境の管理と改善に努めた。

調査研究関係では、企画展に関する講演会や連続講座、ミュージアムトークを実施した。また、企画展図録『武吉孝夫写真展—高知県の山村を歩く—』、調査・研究成果を掲載した『高知県立歴史民俗資料館研究紀要』第27号を刊行した。

例年開催しているイベント等では、4月に「第12回岡豊山さくらまつり」、7・8月に「サマーミュージアム」、11月に「第10回旧大柘高校民俗資料一般公開」と「第13回長宗我部フェス」、1月2・3日に「れきみんのお正月」を開催した。加えて、開館記念日である5月3日の「れきみんの日」は例年どおり観覧無料とするとともに、特別展の開催に合わせて前後の祝日等にもイベントを実施し「れきみんワンダーデイズ」として盛り上げた。

ア 利用状況

(ア) 展覧会 ※催事別は、イ 企画展等展示関係に記載。

展覧会	入場者(人)	料金(千円)	備考
通常展示	5,497	819	(入館者内訳)
特別展・企画展	22,267	6,807	・有料一般 : 12,937人 (46.6%)
計	27,764	7,626	・小中高校生 : 3,440人 (12.4%) ・長寿減免者 : 11,387人 (41.0%)

(イ) 貸室等

貸室等	利用件数	料金(円)	備考
民家	13件(280人)	2,020円	学校団体等
多目的ホール	18件(1,030人)	197,530円	講演会・校外学習・各種会合等

(ウ) 国史跡・岡豊城跡

催し等	来園者数	備考
岡豊城跡散策	14,656人	岡豊山歴史公園
岡豊山さくらまつり	1,500人	R4.4.3(日)
長宗我部フェス	750人	R4.11.19(土)
計	16,906人	

イ 企画展等展示関係

(ア) 特別展・企画展

企画展名	期間(休館日を除く開館日数)	観覧者数
特別展 驚異と怪異 —世界の幻獣と霊獣たち—	R4.4.29(金・祝)～6.26(日) 59日間	12,665人
絵馬ってなあに?	R4.7.15(金)～9.4(日) 52日間	2,914人
武吉孝夫写真展 —高知県の山村を歩く—	R4.10.7(金)～12.4(日) 59日間	3,565人
れきみんコレクション! なんでもランキング	R5.1.2(月・振休)～3.12(日) 70日間	3,123人
	合計 240日間	22,267人

(イ) 通常展示

展示室名	期 間	観覧者数
3階総合展示室 2階長宗我部展示室	R4. 4. 1 (金) ~ R5. 3. 31 (金)	(企画展開催期間を除く) 111日間 5,497人

*休館日 : R4. 12. 27~R5. 1. 1 (年末年始)

臨時休館日 : R4. 6. 27~7. 2 (総合展示室展示換え・展示ケースの清掃・換気、ワックスがけ)

: R4. 9. 18~9. 19 (台風14号接近のため)

*長宗我部展示室のみ開室 : R4. 4. 20~4. 28、7. 3~7. 7

(ウ) 通常展示 コーナー展

3階総合展示室

コーナー展名	期 間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
異界遺産	R4. 7. 8 (金) ~ 9. 11 (日) 66日間	3,386人
干支の玩具 卯	R4. 12. 16 (金) ~ R5. 1. 29 (日) 39日間	1,602人

2階長宗我部展示室

コーナー展名	期 間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
大坂の陣後の長宗我部氏/ 長宗我部氏にまつわる武具	R4. 10. 26 (水) ~ 11. 28 (月) 34日間	2,165人

2階エントランスホール

コーナー展名	期 間 (休館日を除く開館日数)	観覧者数
前田博史写真展 「さくらはくら 2022」	(R4. 3. 19 (土) ~ 3. 31 (木) 13日間) R4. 4. 1 (金) ~ 4. 10 (日) 10日間	959人
前田博史の天然写真展2023 還るところ。	R5. 3. 21 (火・祝) ~ 3. 31 (金) 11日間 (R5. 4. 1 (土) ~ 4. 9 (日) 9日間)	876人
昔のくらしの道具	R5. 1. 13 (金) ~ 3. 5 (日) 52日間	2,119人

(エ) フリースペース・ミニギャラリー展示 (県民参加型展示企画)

利用目的	展示期間・日数	場 所
第17回岡豊山フォトコンテスト 作品展示	R4. 11. 18 (金) ~ R5. 1. 22 (日) 60日間	フリースペース エントランスホール

ウ 教育普及関係

(ア) 講演会・講座

演 題	講 師	実 施 日	聴講者数
驚異と怪異展 オープニングトーク ようこそ！世界不思議ミュージ アムへ	高知県立美術館学芸員 朝倉 芽生 当館学芸課チーフ 梅野 光興	R4. 4. 29 (金・祝)	31人
驚異と怪異展 関連講座 土佐幻獣セミナー 地の章	当館学芸課チーフ 梅野 光興	R4. 5. 8 (日)	38人
驚異と怪異展 関連講座 土佐幻獣セミナー 水の章	当館学芸課チーフ 梅野 光興	R4. 6. 4 (土)	32人
驚異と怪異展 関連講座 土佐幻獣セミナー 天の章	当館学芸課チーフ 梅野 光興	R4. 6. 25 (土)	52人

れきみんワンダーデイズ 公演 獅子舞	香我美町徳王子若一王子獅子舞保存会	R4. 5. 3 (火・祝)	360人
驚異と怪異展 講演会 幻獣・霊獣・怪獣—人はなぜモン スターを想像するのか?—	国立民族学博物館教授 山中 由里子氏	R4. 5. 22 (日)	60人
驚異と怪異展 対談 奇界/世界/想像界 —山中由里 子×佐藤健寿 クロストーク—	国立民族学博物館教授 山中 由里子氏 写真家 佐藤 健寿氏	R4. 6. 19 (日)	60人
絵馬展 関連講座 「描かれた願い・暮らし —絵馬 を読み解く—」	当館学芸専門員 中村 淳子	R4. 7. 18 (月・祝)	15人
絵馬展 関連講座 「馬から絵馬へ —絵馬の歴史を 考える—」	当館学芸課チーフ 梅野 光興	R4. 7. 31 (日)	19人
絵馬展 関連講座 「絵師たちの絵馬 —絵馬の描き 手を追う—」	当館主任学芸員 那須 望	R4. 8. 6 (土)	20人
武吉孝夫写真展 対談 「写紙の方法論」	写真同人「現」会員 武吉 孝夫氏 写真同人「現」会員 小林 勝利氏	R4. 10. 23 (日)	15人
第13回長宗我部フェス関連講座 「長宗我部氏と山内氏—長宗我部 氏は「タブー視」されたのか?— 」	当館学芸員 青井 恵理香	R4. 11. 23 (水・祝)	56人
武吉孝夫写真展 講演会 「本づくりの実際 (変わりゆく山 村)」	写真同人「現」会員 武吉 孝夫氏	R4. 11. 26 (土)	51人
れきみんのお正月 公演 琴と尺八の公演「地唄・箏曲で奏 でる新春の調べ」	琴古流尺八竹童社 藤寿会 高知支部	R5. 1. 3 (火)	28人
合計 14回			837人

(イ) ミュージアムトーク

ト ー ク 名	当館担当者	実施日	参加者数
驚異と怪異 —世界の幻獣と霊獣たち—	梅野 光興	R4. 5. 3(火・祝)、5. 29(日)、 6. 18(土) 計3回	81人
絵馬ってなあに?	曾我 満子 梅野 光興	R4. 8. 7(日)、8. 14(日)、8. 27(土) 計3回	29人
武吉孝夫写真展 —高知県の山村を歩く—	中村 淳子	R4. 10. 22(土)、11. 12(土)、 11. 20(日) 計3回	29人
第13回長宗我部フェス 長宗我部展示室 展示解説	青井 恵理香	R4. 11. 19 (土)	14人
10分間トーク 企画展・コーナー展	那須 望 梅野 光興 中村 淳子	R5. 1. 2(月・振休)、1. 3(火) 計2回	32人
れきみんコレクション! なんでもランキング	那須 望 梅野 光興 曾我 満子	R5. 1. 2 (月・振)、1. 3 (火)、 1. 21(土)、2. 4(土)、3. 4(土) 計3回 (1. 2, 1. 3の回数・人数省略)	20人
合計 15回			205人

(ウ) ワクワクワークなど（展覧会関連企画含む）

タイトル名	講師	実施日	参加者数
特別展関連 コラージュで自分だけの生きものをつくろう！	絵画教室主宰 山本 明子氏	R4. 5. 29(日)こども向け R4. 6. 26(日)おとな向け	41人
企画展関連 絵馬をつくろう！	日本画家 中村 達志氏	R4. 8. 12(金)	5人
企画展関連 いろいろな絵の具を知ろう！	日本画家 中村 達志氏	R4. 8. 27(土)	11人
コーナー展関連 土佐和紙漆喰張り子 うさぎの絵付け	草流舎 田村 多美氏ほか	R4. 12. 17(土)、 12. 18(日) 計2回	40人
企画展関連 学芸員によるミニ講座とワクワクワーク	当館主任学芸員 那須 望	R5. 2. 19 (日)	9人
合 計			106人

エ 学校教育関係

(ア) 学校来館対応

学習メニュー	校数	参加者数	備考
体験学習	18校	697人	火おこし、勾玉づくり、甲冑体験、民家体験など
解説	17校	484人	長宗我部氏・昔のくらしの道具、通史、野中兼山など（調査・調べ学習含む）
ビデオ視聴	8校	472人	アニメ長宗我部元親・歴史に息づく進取と開明など
自由見学	20校	693人	クイズを使った展示室見学を含む
岡豊山見学	6校	259人	職員による案内 自由見学など
計	(延べ69校) 実数 27校	(延べ2,605人) 実数 973人	

(イ) 出張派遣授業

実施日	学校名	主な内容	児童生徒数
R4. 11. 26 (土)	高知県立山田高等学校	「いざなぎ流」について (当館学芸課チーフ 梅野 光興)	15人

(ウ) 職場体験の受け入れ

なし

(エ) 博物館実習の受け入れ

大学名	期間	人数
高知大学 人文社会科学部 人文社会科学科 4年生	R4. 8. 22 (月) ~ 8. 29 (月) の7日間 ※8. 26 (金) は休み	1人
関西学院大学 文学部 文化歴史学科日本史学専修 4年生		1人
京都外国語大学 外国語学部ドイツ語学科 3年生		1人
合 計		3人

オ 旧大柝高校活用・物部関連事業

事業名	内容	実施日	参加者数
第10回旧大柝高校民俗資料 一般公開 むかしの道具の博物館	収蔵民具の公開、物産販売など	R4. 11. 5 (土) 11. 6 (日)	235人

カ 地域との連携イベント

南国市や「土佐のまほろば地区振興協議会」など地域の団体と連携、協力して、歴史民俗資料館を会場に多彩なイベントを開催し、地域を盛り上げるとともに、来場者の入館誘導に取り組んだ。

イベント名等	主催者等	実施日	人数
第12回 岡豊山さくらまつり	岡豊山さくらまつり実行委員会	R4. 4. 3 (日)	1,500人 (入館者622人)
第13回 長宗我部フェス ※鉄砲隊の演武、ステージショー等	長宗我部フェス実行委員会	R4. 11. 19 (土)	750人 (入館者157人)
土佐のまほろばウォーク2022 「いにしへの土佐のまほろば」 (全5回と特別編)	土佐のまほろば地区振興協議会	R4. 4. 24 (日) 5. 17 (火) 10. 27 (木) 11. 27 (日) 特別編R5. 1. 29(日) R5. 3. 16 (木)	(雨天のため中止) 20人 20人 18人 12人 18人
長宗我部元親RALLY FINAL	長宗我部フェス実行委員会 南国市観光協会 協力：(株)カプコン	R4. 11. 11 (金) ~ R5. 1. 29 (日)	スタンプラリー 参加者 310人

キ その他普及事業

事業名	内容(参加人数)	実施日	人数
れきみんの日 ※無料開館	幻獣クイズ(623)等	R4. 5. 3 (火・祝)	1,212人
れきみんワンダーデイズ	幻獣仮面をつくろう(20)、土佐の幻獣・民話紙芝居(57)、牛乳パックで幻獣びっくり箱をつくろう(62)、牛乳パックで万華鏡づくり(41)、幻獣ウォーク(6)、岡豊山ガイド(43)、世界のキッチンカー等	R4. 4. 29(金・祝) 4. 30(土) 5. 3(火・祝) 5. 4(水・祝) 5. 7(土) 5. 8(日)	2,119人 (5.3の人数を除く)
れきみん! サマーミュージアム ~岡豊へいこう! レッツ・ゴー!~	クイズに挑戦!(245)、紙コップでおぼけづくり(95)、紙絵馬づくり(70)、竹トンボをつくろう(67)、竹水てっぽうをつくろう(87)、五色百人一首に挑戦!(51)、ステンドグラス風ペーパーアート(117)、お祭り金魚づくり(115)、木工モノづくり(39)、ピョンっと飛び出す!びっくり箱づくり(26) 駄菓子屋さん等	R4. 7. 27(水) 8. 12(金) 8. 27(土)	613人

れきみんのお正月	新春福引き (200)、うさぎ見つけた！ (191)、ペットボトルキャップでミニ門松をつくろう (38)、毛糸でつくるポンポンうさぎ (68)、五色百人一首に挑戦！ (15)、お茶を一服 (161) 等	R5. 1. 2 (月・振) 1. 3 (火)	279 人
合 計			4,223 人

(4) 坂本龍馬記念館

コロナ禍の環境変化が3年目に入る中にあっても、公益財団法人日本博物館協会のガイドラインに基づいた来館者の感染予防策や3密の回避・換気・消毒の励行といった対策を講じながら、調査研究・企画展示・教育普及の3つの事業活動を展開し、文化施設・観光施設としての役割を担った。

企画展示事業のうち、特別展「龍馬の師一勝海舟生誕二百年」展においては、4年連続となる国指定の重要文化財を含む展示を行い、公開承認施設認定に向けての実績を収めた。

それぞれの企画展では、展示テーマや県内外の関係機関とのネットワークを生かした有意義な企画展示を実施するとともに、小冊子や図録の発行、担当学芸員の展示解説や企画展の記念講演会及び常設展示室の更新の実施などにより、来館者の満足度の向上につながったと考えている。

調査研究の面では、坂本龍馬直筆の手紙7点を高知県立歴史民俗資料館から当館への移管により収蔵した。

教育普及事業では、①「武士の時代を考えるーその制度・精神・象徴」をテーマに県内外の研究者による江戸時代の武士を理解していただく連続講演会(全5回)の開催、②小学生を対象とした「出前授業」や「夏休み子ども教室」の実施、③修学旅行をはじめ校外学習の場として当館を利用していただいた学校への解説の実施など、大人から子どもまで幅広く龍馬の生涯や幕末の歴史を学んでいただく事業を実施した。そのうちの「出前授業」では、初めての取り組みとして「出前授業」実施校を当館に招いての「アフター出前教室」を実施した。また、④県内各地の文化講座等への学芸員の派遣のほか、⑤高知県教育委員会の後援なども得て企画展と連動したファミリー層向けのシーズナルイベントを追加的に開催もした。

広報の面では、関西・中四国圏を中心に県内外の新聞・TV等のメディアを活用した取材の受け入れを含む情報発信の取り組みを展開するとともに、コロナ禍におけるPR方策として連続講演会も視聴できるホームページの充実、YouTubeを活用した企画展の担当学芸員の展示解説、フェイスブックやインスタグラムなどSNSを活用した企画展やイベント情報の提供活動を行った。

これらの取り組みを通して入館者数を10万人までに回復することができた。

ア 坂本龍馬記念館利用状況

展覧会	入館者(人)	観覧料収入(千円)	備 考
常設展・企画展	103,901	47,799	(入館者内訳) 一 般 : 78,702 人 小中高生 : 13,445 人 乳幼児 : 1,360 人 減免・招待者 : 10,394 人

イ 企画展示

企 画 展 名	期 間	日数	入館者数(人)
「北海道で“龍馬”生きるーチョッコウさん再び」展	R4. 4. 1(金)~R4. 4. 3(日)	3	900

企画展名	期 間	日数	入館者数 (人)
「龍馬脱藩 160 年維新へつながる土佐の道」展	R4. 4. 16(土)～R4. 6. 25(土)	71	19, 304
記念講演会 「龍馬脱藩への道」 講師：龍谷大学文学部特任講師 高山嘉明氏	R4. 6. 4 (土)		63
担当学芸員による展示解説	R4. 5. 14 (土) の 1 回		50
「龍馬が七歳だったころ－天保期の土佐の社会とくらし－」展	R4. 7. 9(土)～R4. 10. 19(水)	103	32, 811
記念講演会 「龍馬の時代の高知城下町～城下の風流「花台」を中心に～」 講師：高知県立高知城歴史博物館副館長 兼教育普及課長 横山和弘氏	R4. 9. 11 (日)		30
担当学芸員による展示解説	R4. 7. 16 (土)、R4. 9. 11 (土) の 2 回		22
「龍馬最後の帰郷－坂本家と川島家・中城家」展	R4. 11. 1(火)～R5. 1. 25(水)	86	23, 676
記念講演会 「龍馬と天皇と長州」 講師：萩博物館特別学芸員 一坂太郎氏	R5. 1. 14 (日)		50
担当学芸員による展示解説	R4. 11. 26 (土)、R5. 1. 14 (土) の 2 回		30
特別展「龍馬の師－勝海舟生誕二百年」展	R5. 2. 16(木)～R5. 3. 31(金) (最終：R5. 4. 16 (日))	44	16, 919
記念講演会 「海舟・龍馬の海防論の礎－伊勢国松阪の竹川竹斎と松浦武四郎」 講師：松坂市松浦武四郎記念館長 山本命氏	R5. 3. 4 (土)		46
担当学芸員による展示解説	R5. 3. 4(土)・18(土)・19(日)・ 21 (火・祝)・25 (土) の 5 回 (R5. 4. 1 と 4. 2 にも実施)		155
展示替えによる企画展示室等閉室中における常設展示室のみの観覧期間		58	10, 291
自然災害等のための臨時休館	台風、降雪、設備保守	(再掲) 5	

ウ 調査研究

事業名	内 容	実 施 日	参加人員 (人)
令和4年度収蔵資料	<ul style="list-style-type: none"> ・寄託 1件 (岡三橋書「自然堂」掛け軸) ・移管 7件 (坂本龍馬書簡 慶応元(1865) 4件、 慶応3(1867) 3件) ・複製 2件 (坂本龍馬書簡 文久3年5月7日 乙女宛 慶応2年9月18日か 渡辺昇宛) 	—	—
高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回目の現代龍馬学会の総会及び研究発表会を開催し、龍馬研究の水準を高め、龍馬の真実を追求し、その精神を現代に生かすための取り組みを行った。 ・本年度より、年4回開催の企画展・特別展の展示解説及び記念講演会を学会と館の共催とした。また、講演会のWEB配信と講演録配布の取り組みを開始した。 <p><①総会・研究発表会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部「坂本龍馬・中岡慎太郎両氏の四十年忌祭から分かったこと 龍馬の北辰一刀流兵法皆伝等は追贈されたものか？」 講師：現代龍馬学会理事 今井章博氏 <p>(共催・再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2部「龍馬脱藩への道」 講師 龍谷大学文学部特任講師 高山嘉明氏 <p><記念講演会(共催・再掲)></p> <ul style="list-style-type: none"> ②「龍馬の時代の高知城下町～城下の風流「花台」を中心に～」 講師：高知県立高知城歴史博物館 副館長兼教育普及課長 横山和弘氏 ③「龍馬と天皇と長州」 講師：萩博物館特別学芸員 一坂太郎氏 ④「海舟・龍馬の海防論の礎—伊勢国松阪の竹川竹斎と松浦武四郎」 講師：松坂市松浦武四郎記念館長 山本命氏 	<p>①R4.6.4(土)</p> <p>②R4.9.11(日)</p> <p>③R5.1.14(土)</p> <p>④R5.3.4(土)</p>	<p>①63人</p> <p>②30人</p> <p>③50人</p> <p>④46人</p>

エ 教育普及

事業名	内 容	実 施 日	参加人員 (人)
<p>連続講演会（全 5 回） 《テーマ》 「武士の時代を考 える－その制 度・精神・象徴」</p>	<p>・令和4年度で5回目を迎える連続講演会（全5回）を実施した。 ・5人の研究者の方にご登壇いただき、多くの方に江戸時代の武士についての理解を深めていただいた。</p> <p>①「武士と武士道の歴史」 講師：国際日本文化研究センター名誉教授 笠谷和比古 氏</p> <p>②「徳川将軍と大名」 講師：名古屋城調査研究センター主査 原史彦氏</p> <p>③「城下町萩と武士の暮らし」 講師：山口大学教育学部教授 森下徹氏</p> <p>④「武士と帯刀」 講師：神戸大学経済経営研究所研究員、 花園大学・佛教大学非常勤講師 尾脇秀和 氏</p> <p>⑤「武家の空間－絵の役割」 講師：高知県立高知城歴史博物館主任学芸員 尾本師子氏</p>	<p>①R4. 6. 18(土)</p> <p>②R4. 8. 27(土)</p> <p>③R4. 10. 29(土)</p> <p>④R4. 12. 17(土)</p> <p>⑤R5. 2. 25(土)</p>	<p>①48人</p> <p>②40人</p> <p>③45人</p> <p>④38人</p> <p>⑤37人</p>
<p>出前授業</p>	<p><当館の学芸員による出前授業></p> <p>・授業のみならず、各小学校の児童クラブにも出向き、紙芝居や幕末・坂本龍馬・当館の説明を行った。</p> <p>・園児や小学校低学年、教師・保護者など幅広い年代を対象にしており、わかりやすい説明を行うことによって、周知・理解を深めた。</p> <p>・今年度から、理解をより深めるために出前授業実施校を対象に当館に招くアフター出前教室を実施した。</p> <p>・県外の学校でも、出前授業を実施。</p> <p>①出前教室（県内）：7校 ②アフター出前教室（県内）：1校 ③出前教室（県外）：2校（東京都品川区）</p> <p><当館の元学芸員による出前授業></p> <p>・元職員ご夫妻による出前授業は、新型コロナウイルス感染症の感染を考慮し今年度は実施しなかった。</p>	<p>通 年</p>	<p>①419人 ② 46人 ③120人</p>

事業名	内容	実施日	参加人員(人)
夏休み子ども教室	<p>・子ども達の夏休みの宿題(自由研究や工作など)を応援するとともに、当館や幕末の歴史に興味を持ってもらうために、「とさっこ幕末ツアー」や「りょうま工作教室」を企画した。</p> <p>①「とさっこ幕末ツアー」(対象:小学高学年~中学生) 講師:当館職員 内容:海沿いの史跡を尋ねる~浦戸から須崎へ~ ※新型コロナウイルス感染症の流行により中止</p> <p>②夏休み「りょうま工作教室」(対象:小学校低学年) 講師:当館職員 内容:段ボールのぞうり作り、かんたん刀作り 回数:3回</p> <p>③夏休み「りょうま工作教室」(対象:小学校高学年) 講師:当館職員 内容:わらぞうり作り、紋切うちわ作り 回数:3回</p>	<p>①R4.7.31(日) ※中止</p> <p>② R4.8.7(日)AM R4.8.14(日)AM R4.8.14(日)PM</p> <p>③ R4.8.7(日)PM R4.8.21(日)AM R4.8.21(日)PM</p>	<p>①中止</p> <p>② 8人 11人 8人</p> <p>③ 13人 3人 1人</p>
学習遠足支援事業	県内の小中学生に坂本龍馬や幕末史を知る校外学習の場として当館を活用するため、バスを借り上げて来館した学校に対して、その借り上げ費用の一部を助成した。	通年	12校
校外学習支援事業	坂本龍馬や幕末史を学ぶための修学旅行などの場として、主に中四国などから小・中・高等学校が来館した。来館する児童・生徒には希望に応じて事前に学芸員が坂本龍馬について解説をしたDVDの貸し出しを行うほか、来館時には龍馬の生涯や業績をまとめたパンフレットを全員に配布した上で観覧を行っている。	通年	97校 6,118人 (県内20校 714人 県外77校 5,404人)
館広報誌「飛騰」の発行	年4回発行した。 (館のトピックスやイベント、学芸員の研究要旨・コラム、企画展の紹介など)	—	—
講演会等への講師派遣	<p>坂本龍馬や土佐の幕末史などについての理解を深めていただくために、学芸員を様々な講演会等の講師として派遣し、坂本龍馬の歴史的役割や、幕末史の意義深さに対する関心や、さらなる理解を促進した。</p> <p>①高知県協同の森交流事業「森と坂本龍馬、そして脱藩の道」(津野町)</p> <p>②高知シルバー大学講座「龍馬から直行へ」</p> <p>③香南市キャリアチャレンジデイ</p> <p>④安田町企画展(和歌で結ばれた順蔵と龍馬)の特別講座「家族をつなぐ和歌の楽しみー坂本・高松・井上家をめぐって」</p> <p>⑤地域フィールドワーク(小津高校)</p> <p>⑥オンライン歴史講演会「龍馬、慎太郎、具視の明治維新一岩倉具視没後140年に向けて」(岩倉具視幽棲旧宅管理事務所)</p> <p>⑦高知大学非常勤講師「博物館経営論」</p>	<p>①R4.7.1(金)</p> <p>②R4.7.15(金)</p> <p>③R4.9.9(金)</p> <p>④R4.9.25(日)</p> <p>⑤R4.11.25(金)</p> <p>⑥R5.2.19(日)</p> <p>⑦R5.2.27(月)</p>	7件

オ その他の普及事業

事業名	内 容	実 施 日	参加人員 (人)
館収蔵資料の入れ替え展示	<p>館が所蔵する龍馬真筆書簡などの資料を入れ替え展示し、魅力の向上に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4/16～6/9 越行の記 他 4 点 (常設展示室) ・ 6/17～10/30 大笑いの手紙 他 5 点 (常設展示室) ・ 11/1～1/25 林謙三宛 (慶応3年11月10日付け、11月11日付け) 他 2 点 (企画展示室) ・ 1/24～ 坂本乙女宛 (慶応元年夏推定) 他 7 点 (常設展示室) 	—	—
第49回龍馬まつり in 桂浜の参加	<p>公益財団法人高知市観光協会が実施する「第49回龍馬まつり in 桂浜」に協賛参加し、桂浜地域施設と連携した誘客に努め、桂浜全体の賑わいの一端を担った。</p>	R4. 11. 13(日)	参加者 427 人 (当日入館者数)
長宗我部フェス in 浦戸	<p>・ 当館は長宗我部氏最後の居城「浦戸城」に立地していることから、新たな客層をはじめ多くの皆様に歴史を学ぶきっかけを創出するため「長宗我部フェス」(11月19日開催、長宗我部フェス実行委員会主催)とタイアップして、新たな歴史イベントとして初開催した。</p> <p>(イベント内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浦戸城出土遺物展示 ・ ウォーキングツアー史跡巡り番外編「歩いて巡る浦戸城」 (県立埋蔵文化財センター松田所長が案内・解説) ・ 長宗我部鉄砲隊・大友宗麟鉄砲隊の演武 ・ 浦戸城 VR 体験 等 <p>・ 「長宗我部フェス」(11月19日開催)に当館も初参加して広報・PR活動を行った。</p>	R4. 11. 20(日)	参加者 511 人 (当日入館者数)
ウォーキング・史跡巡り	<p>企画展「龍馬最後の帰郷ー坂本家と川島家・中城家」展に合わせて、龍馬が帰郷時に立ち寄った種崎の中城家離れなどを、当館の担当学芸員が解説しながら巡り、地域の史跡とその内幕などを再発見した。</p>	R4. 12. 3(日)AM	30 人

事業名	内 容	実 施 日	参加人員 (人)
誘客促進のための新たなイベント等の企画・実施	当館の誘客 PR の取り組みとして、ファミリー層をはじめ新たな客層の当館への来館を促進するため、次の新たなシーズナルイベントを開催した。 ①記念館のお正月 ・新春ささやかな福配り ・新春がらがら抽選会 等	①R5.1.2(月) ～9(月)	参加者 (当日入館者数) ①2,528人
	②龍馬記念館で歴史の面白さを学ぼう (児童生徒向けイベント・県教委後援) ・紙芝居ムービーの放映 ・館内を巡るクイズラリー&デジタルスタンプラリー ・動く塗り絵コーナー(イラストの動画化) ・オリジナル缶バッジづくりコーナー ・フォトスポットコーナー 等	②R5.2.23(木) ～26(日)	②2,505人
	③桂浜公園リニューアルオープン記念企画 ・紙芝居ムービーの放映 ・動く塗り絵コーナー ・フォトスポットコーナー ・甲冑試着体験コーナー ・特別展(勝海舟生誕二百年展)クイズラリー (日本ビール(株)協力・景品提供 3.4(土)～31(日)) 等	③R5.3.4(土) ～5(日)	③2,011人

(5) 文学館

令和4年度は指定管理者第4期の4年目であり、運営の基本方針に基づき、展覧会や企画展等を通して、ゆかりの作家の顕彰や土佐文学の魅力を伝えるとともに、県民の文学への関心を高める取り組みを一層推進させるために力を尽くした。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら、5本の企画展を開催。子どもから大人まで楽しめるよう、さまざまな文学の楽しみ方を提案した。

常設展示では、植木枝盛、清岡卓行、楨村浩、山内容堂の4人を新たに紹介し、いつ来館しても新しい文学との出会いを感じ、顕彰作家を深く理解してもらえるよう努めた。また、常設企画コーナーでは、「嶋岡晨の魅力～肉化された精神～」の展示を行った。

寺田寅彦記念室ミニコーナーでは、「寺田寅彦の自然観～寅彦から濱口喬夫へ～」を開催、「宮尾文学の世界」室では、「宮尾登美子の軌跡～悠久の歴史に生きた女性たち～」をテーマに『天璋院篤姫』『平家物語』など歴史ものの作品を紹介した。

教育普及事業では、文学マイスター講座、児童クラブ等への出張おはなしキャラバンや紙芝居ボランティア公演などの開催をはじめ、市民講座など外部からの講師派遣要請にも対応した。また、児童生徒文学作品朗読コンクール、朗読の会、出張朗読など、朗読を通して文学を身近に感じていただける取り組みも行った。

広報活動については、館報「藤並の森」や年間イベントガイドを発行するとともに、ホームページ内の教育普及事業の内容の充実・利便性の向上、ブログの活用などにより、随時更新を行うことで最新の情報提供が出

来るように努めた。

また、収蔵庫の燻蒸作業を行うとともに、I P M (Integrated Pest Management/総合的有害生物管理) の一環として、開館前に職員全員が交代で展示室の点検・見回りを行うなど、資料の保存・保護作業を通して良好な観覧環境の確保に努めた。

ア 文学館利用状況

種別	入館者(人)	料金(円)	備考
主催	常設展	1,343	(入館者内訳) ・一般 : 10,868人 ・小中高生 : 8,919人 ・長寿者等 : 4,976人
	企画展	23,420	
	計	24,763	
ホール	3,159	536,800	※ 利用件数 : 166件 (117件)
茶室	1,528	257,260	※ 利用件数 : 96件 (0件)
合計	29,450	5,575,200	

*件数は貸出区分(午前・午後・全日)でカウント、()内は、免除等使用料無料の件数

*上記件数にはいずれも当館主催利用を含む

イ 展覧会

(ア) 企画展

企画展名	開催期間	開催日数 (実数)	観覧者数
自主企画展 花を愛する人の物語～My Secret Garden～	R4. 4. 9(土)～R4. 6. 12(日)	65日間	2,221人
巡回展 おしりたんてい	R4. 7. 2(土)～R4. 9. 4(日)	65日間	8,194人
自主企画展 寺田寅彦「茶わんの湯」100年 ふしぎいろいろ展	R4. 9. 17(土)～R4. 11. 20(日)	64日間	1,568人
自主企画展 生誕120年記念 上林暁展	R4. 12. 1(木)～R5. 1. 26(木)	51日間	832人
自主企画展 柴田ケイコ展～ちゃかぼこカーニバル～	R5. 2. 4(土)～R5. 3. 26(日)	51日間	10,605人
合計		296日間	23,420人

※臨時休館 6/21～23(収蔵庫燻蒸、特別清掃) 12/27～1/1(年末年始休館) 9/19(台風14号)

(イ) 常設展

区 分	テーマ 内 容	会 期
常設展示室	収蔵資料を中心にローテーション方式で入れ替えを行い、60 数名の顕彰作家等を紹介している。 令和4年度は、その中から新しく、植木枝盛、清岡卓行、槇村浩、山内容堂を紹介し、高知の文学者と作品の魅力をわかりやすく伝えた。また、常設展入口「高知の文学の流れ」コーナーを刷新した。	R4. 4. 1 (金) ↓ R5. 3. 31 (金)
常設展示室 (企画コーナー)	「嶋岡晨の魅力～肉化された精神～」と題して、仏文学者、詩人、評論家、小説家、元立正大学文学部教授と様々な顔を持ち、多角的に活躍する嶋岡さんの文学について紹介した。	R4. 4. 10 (日) ↓ R5. 3. 21 (火)
寺田寅彦 ミニ企画コーナー	前年度より「寺田寅彦と地震X さまざまな天災」を、令和5年2月より「寺田寅彦の自然観～寅彦から濱口喬夫へ～」を開催した。	R4. 4. 1 (金) ↓ R5. 3. 31 (金)
宮尾文学の世界	「宮尾登美子の軌跡～悠久の歴史に生きた女性たち～」をテーマに『天璋院篤姫』『平家物語』など歴史ものの作品を紹介した。	R4. 4. 1 (金) ↓ R5. 3. 26 (日)

ウ 教育普及事業

事 業 名	会 期	回数	参加者(人)
文学マイスター講座	R4. 5. 1(日) ～ R5. 2. 28(火)	7	214
児童生徒文学作品朗読コンクール	地区審査 3回 R4. 8. 19(金)、23 (火)、 25 (木) ～26 (金) 県審査 1回 R4. 11. 13(日)	4	254
朗読の会	R4. 4. 1(金) ～ R5. 3. 31(金)	6	269
出張朗読会	R5. 3. 5(日)	1	15
記念講演会 (企画展関連)	R4. 4. 1(金) ～ R5. 3. 31(金)	3	96
ギャラリートーク (企画展開催中土曜日)	R4. 4. 1(金) ～ R5. 3. 31(金)	48	725
語りと紙芝居の会	R4. 4. 1(金) ～ R5. 3. 31(金)	12	136
おはなしキャラバン (館内、館外)	R4. 4. 1(金) ～ R5. 3. 31(金)	37	1,841
近世土佐文学研究会	R4. 4. 1(金) ～ R5. 3. 31(金)	46	223
職員による講演 (依頼を受けての講師派遣)	R4. 4. 1(金) ～ R5. 3. 31(金)	22	1,064
その他企画展関連イベント *クイズ、工作イベント等	R4. 4. 1(金) ～ R5. 3. 31(金)	39	3,517
	参加者合計		8,354

エ こども対象事業（☆再掲）

事業名	実施時期	回数	参加者 (人)	備考
児童生徒文学作品 朗読コンクール	R4. 8.19(金) 西部 8.23(火) 東部 8.25(木) 中部 8.26(金) 中部 11.13(日) 県	地区審査 3 県審査 1	254	
おはなしキャラバン (館内、館外)	R4. 4.1(金) ~ R5. 3.31(金)	37	1,841	

オ カルチャーサポーターの活動概要

活動内容	登録数※	活動回数	参加延人数
イベント補助	12名	6回	12名
紙芝居普及・読み聞かせ	25名	37回	47名
資料整理	5名	25回	25名
草の根広報	28名	5回	140名
朗読活動	31名	7回	27名
文学散歩	3名	0回	0名
合計	104名	80回	251名

* 令和4年度末カルチャーサポーター認定者は62名

(6) 埋蔵文化財センター

受託事業として開発等に伴う埋蔵文化財の発掘調査を行うとともに、指定管理業務として高知県立埋蔵文化財センターの施設管理及び出土文化財保管管理活用事業並びに埋蔵文化財保護推進のための広報普及事業を実施した。

ア 発掘調査受託事業

令和4年度は、国土交通省（県教育委員会から再委託）、農林水産省（南国市から再委託）、高知県及び（公財）土佐山内記念財団から委託を受けて、発掘調査及び整理業務を行った。

国土交通省関係では、安芸道路建設工事に伴い、安芸市東浜地区の発掘調査、金政遺跡他の整理業務を実施した。

農林水産省関係では、国営ほ場の整備に伴い、南国市能間地区において、成願遺跡の発掘調査及び整理業務を行った。

県関係では、都市計画道路高知南国線建設工事に伴う若宮ノ東遺跡及び忠兵衛遺跡の整理業務、県道甲殿弘岡上線建設に伴う森山城跡の整理業務、都市計画道路はりまや町一宮線建設工事に伴う新堀川護岸の整理業務を実施し、各事業の発掘調査報告書を公開した。

また、史跡高知城跡においては、昨年度に引き続き高知城本丸石垣カルテ作成業務の外、西ノ丸石垣改修の整理業務を実施し、報告書を公開した。

(公財) 土佐山内記念財団関係では、土佐藩主山内家墓所八代墓地の崩落した石垣の修復整備に伴う石垣調査を行った。

令和4年度の受託契約事業費は、約2億1千2百万円であった。

令和4年度 埋蔵文化財センター発掘調査事業一覧

事業主体	調査名	受託金額(円)	遺跡名等	調査場所	内容	面積(m ²)
国土交通省	安芸道路	63,151,000 (発掘 58,773,000) (整理 4,378,000)	東浜・土居地区 (東浜土居遺跡)	安芸市東浜・土居	発掘 整理	2,088 3,870
農林水産省	南国市 国営ほ場整備	31,031,000 (発掘 17,259,000) (整理 13,772,000)	能間地区 (成願遺跡)	南国市大桶	発掘 整理	309 1,330
高知県	都市計画道路 高知南国線	50,897,000	若宮ノ東遺跡	南国市篠原	整理	3,522
	県道甲殿弘岡 上線	30,184,000	森山城跡 ニノ堀遺跡	高知市春野町	整理	3,552
	都市計画道路 はりまや町一 宮線	11,088,000	新堀川護岸	高知市はりまや 町～桜井町	整理	4,524
	高知城石垣カ ルテ	8,580,000	高知城本丸石垣	高知市丸の内	カルテ 作成	332
	高知城西ノ丸 石垣改修	11,649,000	高知城西ノ丸石垣	〃	発掘 整理	176
(公財) 土佐山 内記念 財団	土佐藩主山内 家墓所発掘調 査	5,863,000	土佐藩主山内家墓所 八代墓地	高知市筆山	発掘	15
合計		212,443,000				19,718

イ 埋蔵文化財センター指定管理事業

(ア) 埋蔵文化財センターの利用状況

利用内容	人数	備考
入館者数	3,445人	大人 2,628人 小人 817人
館外利用者数	3,385人	親子考古学教室 312人 出前考古学教室 2,618人 企画展講演会 50人 地域展「佐川町と仁淀川上流域の遺跡展」 107人 地域展 講演会 32人 地域展 ワークショップ 4人 地域展 ギャラリートーク 10人 考古学から学ぶ史跡の見方 53人 山城講座と城歩き 32人 イオンワークショップ 167人
利用者総数	6,830人	

(イ) 展示会及び入館者数

a 埋蔵文化財センター内展示会

展示会	会期	入館者数(人)	備考
発掘速報展	R4. 4. 24(日)～R4. 7. 3(日)	665	西野々遺跡
巡回展	R4. 7. 24(日)～R4. 9. 11(日)	1,061	四国地区埋蔵文化財センター 発掘へんろ展「四国の風土と暮らしー山と人々ー」
企画展	R4. 10. 9(日)～R5. 3. 31(金)	1,575	発掘された中世の土佐一鎌倉 ～室町時代の諸遺跡と武家の 動向ー
	その他の期間の入館者	144	
	計	3,445	

b 埋蔵文化財センター外展示会

展示会	会期	入館者数(人)	備考
地域展	R5. 1. 14(土)～R4. 1. 29(日)	107	佐川町と仁淀川上流域の遺跡 展(佐川町立桜座2Fホワイエ)

c 展示報告会・ギャラリートーク

内容	実施日	参加人員(人)	備考
第1・2回ギャラリートーク	R4. 4. 24(日)	19	発掘速報展
第1回展示報告会	R4. 5. 5(木・祝)	27	〃
第3・4回ギャラリートーク	R4. 7. 24(日)	16	巡回展
第2回展示報告会	R4. 8. 28(日)	24	〃
第5・6回ギャラリートーク	R4. 10. 16(日)	11	企画展
第3回展示報告会	R5. 2. 12(日)	22	〃
第7回ギャラリートーク	R5. 1. 15(日)	10	地域展
第8・9回ギャラリートーク	R5. 3. 5(日)	8	企画展
	計	137	

d 展示関連企画

内容	実施日	参加人員(人)	講師	会場
企画展 講演会 「中世考古学に学ぶ」	R4. 11. 27(日)	50	高知県文化財保護 審議会 会長 岡本 桂典	高知城歴史博物館ホ ール
地域展 講演会 「遺跡から見える佐川 町と仁淀川流域の歴史」	R5. 1. 22(日)	32	高知県立埋蔵文化 財センター職員	佐川町総合文化セン ター
地域展 ワークショッ プ(勾玉づくり)	R5. 1. 22(日)	4	ー	佐川町総合文化セン ター
	計	86		

(ウ) 公開講座

a まいぶん講座

講座内容	実施日	参加人員 (人)	備考
遺物編	R4. 6. 26(日)	20	埋蔵文化財センター
遺構編	R4. 12. 4(日)	15	〃
	計	35	

b 遺跡解説会

講座内容	実施日	参加人員 (人)	備考
金政遺跡	R4. 7. 3(日)	27	埋蔵文化財センター
忠兵衛城跡	R4. 11. 20(日)	22	〃
森山城跡	R4. 12. 25(日)	26	〃
土佐藩主山内家墓所	R5. 3. 19(日)	26	〃
	計	101	

c 親子考古学教室 (火起こし・勾玉づくり等)

回数	実施日	参加人員 (人)	回数	実施日	参加人員 (人)
第1・2回	R4. 7. 26(火)	55	第17・18回	R4. 8. 13(土)	55
第3・4回	R4. 7. 29(金)	61	第19・20回	R4. 8. 14(日)	46
第5・6回	R4. 7. 31(日)	58	第21・22回	R4. 8. 16(火)	59
第7・8回	R4. 8. 3(水)	50	第23・24回	R4. 8. 18(木)	51
第9・10回	R4. 8. 5(金)	54	第25・26回	R4. 8. 20(土)	50
第11・12回	R4. 8. 7(日)	68	第27・28回	R4. 8. 21(日)	60
第13・14回	R4. 8. 9(火)	62	第29・30回	R4. 8. 23(火)	52
第15・16回	R4. 8. 11(木・祝)	53	第31・32回	R4. 8. 25(木)	52
計					886

d 古代ものづくり体験教室(ガラス勾玉づくり・勾玉づくり・銅鏡づくり・土器づくり等)

回数	実施日	参加人員 (人)	備考
第1・2回	R4. 5. 8(日)	23	午前・午後2回開催
第3・4回	R4. 5. 22(日)	7	〃
第5・6回	R4. 6. 12(日)	20	〃
第7・8回	R4. 9. 11(日)	39	〃
第9・10回	R4. 10. 10(月・祝)	41	〃
第11・12回	R4. 12. 18(日)	34	〃
第13・14回	R5. 1. 9(月・祝)	22	〃
第15回	R5. 2. 5(日)	27	午前1回開催
第16・17回	R5. 2. 19(日)	22	午前・午後2回開催
第18・19回	R5. 3. 12(日)	23	〃
	計	258	

e まいぶんセンターまつり

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
秋の考古学体験教室 (代替行事)	R4. 11. 3(木・祝)	98	まいぶんセンターまつりは中止

f 考古学研究最前線解説会

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
中世山城の概要	R4. 9. 4(日)	28	埋蔵文化財センター
弥生時代の人々と文字	R5. 2. 23(木・祝)	27	〃
	計	55	

g 考古学から学ぶ史跡の見方

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
竹林寺道と禪師峰寺道 (高知市)	R4. 5. 15(日)	28	現地集合
富田茶臼山古墳 (香川県さぬき市)	R4. 10. 23(日)	25	バスツアー
	計	53	

h 山城講座と城歩き

内容	実施日	参加人員 (人)	備考
座学「松尾城跡」	R4. 11. 6(日)	24	埋蔵文化財センター
フィールドワーク「松尾城跡」	R5. 1. 29(日)	32	現地集合
	計	56	

(エ) 学校・団体対象事業

a 出前考古学教室

実施期間		実施回数	内 訳			参加人員 (人)
			学校授業	学校関係行事	その他団体	
前期	R4. 5. 9(月)～R4. 7. 14(木)	57	57回 (57校)	0回	0回	1,929
後期	R4. 9. 6(火)～R4. 12. 17(土)	14	9回 (9校)	5回	0回	689
	計	71	66回 (66校)	5回	0回	2,618

b 団体見学

団体名	見学日	参加人員 (人)	内 訳		内 容
			大人	小人	
南国市社会福祉協議会	R4. 7. 13 (水)	9	9	—	見学・体験
高知考古学研究会	R4. 7. 23 (土)	26	26	—	研修会
放課後等デイサービス ポルカ	R4. 8. 31 (水)	13	4	9	体験
高知市青蘭会	R4. 9. 4 (日)	9	7	2	〃
後免野田小学校5年学年行事	R4. 10. 23 (日)	56	25	31	〃
大豊町高須婦人会	R4. 11. 18 (金)	16	16	—	見学
伊野南小学校5年生	R4. 11. 25 (金)	22	2	20	体験
高知県高等学校教育研究会歴史部会	R5. 2. 12 (日)	8	8	—	体験・会議
佐古小学校6年生	R5. 3. 7 (火)	56	3	53	見学・体験
岡豊史跡と自然を楽しむ会	R5. 3. 13 (月)	21	21	—	見学
高知考古学研究会	R5. 3. 25 (日)	24	24	—	研修会
計		260	145	115	

(オ) 職場体験受入

体験内容	受入校名	受入人員(人)	実施期間
整理作業体験、展示準備、館内見学等	大津中学校	3	R4. 9. 29 (木)～9. 30 (金)

(カ) 講師派遣

派遣内容	実施日	講師	場所
「森山城（高知市春野町）発掘調査成果と時代背景についての講演講師	R4. 4. 24 (日)	徳平 涼子	高知市春野公民館
四万十市郷土博物館企画展「博物館の歩き方 土器の巻」展示内容の指導	R4. 8. 18 (木) ～R5. 2. 11 (土) の指導が必要な日	久家 隆芳	四万十市郷土博物館
「土佐のまほろばウォーキング2022」【古墳時代に想いを馳せる①】フィールドワーク講師	R4. 10. 27 (木)	久家 隆芳	南国市芝の前古墳・野津古古墳・小蓮古墳
地域の方々を対象とした「本山城跡」についての講座 (10/25)、現地学習 (12/16) 講師	R4. 10. 25 (火) R4. 12. 16 (金)	坂本 裕一	本山町プラチナセンター・本山城跡
高知県立坂本龍馬記念館「長宗我部フェス in 浦戸」の史跡巡り解説講師	R4. 11. 20 (日)	松田 直則	高知市浦戸城
枝川3号墳出土遺物についての整理方法について助言・指導	R4. 10. 11 (火) ～R4. 10. 20 (木) の業務に支障のない日	吉成 承三	いの町立図書館
岡豊城跡・長宗我部一族の寺跡発掘調査における調査支援・指導	R4. 11. 30 (水) ～R5. 1. 31 (火) の業務に支障のない日	松田 直則 吉成 承三	南国市岡豊町岡豊山山麓 (長宗我部一族の寺跡)
「企画展【発掘された中世の土佐】について」生涯大学講義の講師	R5. 3. 8 (水)	山崎 孝盛	高知市 高知県人権啓発センター教室
四万十市郷土博物館企画展「博物館の歩き方～土器の巻」講演講師	R5. 3. 18 (土)	久家 隆芳	四万十市郷土博物館
香美市生涯学習課企画展示「伏原遺跡の時代～弥生時代を中心に」講演講師・フィールドワーク講師	R5. 3. 19 (日)	久家 隆芳	香美市立図書館かみーる他 伏原遺跡周辺フィールドワーク